

ITマーケティングNews

vol.45
2025年 秋号

Google検索のAIモードとは？日本語提供開始とその対策は

2025年9月9日に日本語での提供が開始されたGoogle検索の「AIモード」。すでにGoogle検索でこの表示を見かけた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

ではこのAIモード、いったいどんなものなのか？今後のホームページ運用にどのような影響があるのか？現時点で確認できたことをまとめました。（2025年9月19日時点）

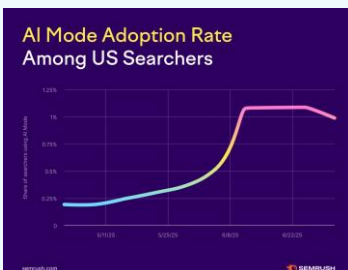
AIモード すべて 画像 ショップ

■Google検索の「AIモード」とは？「Google検索」「AIオーバービュー」との違い

Google検索の「AIモード」は、これまで日本でも英語のみ使用可能になっていましたが、2025年9月9日に日本語でも提供が開始されました。もし現在表示されない状態だったとしても、今後段階的に利用が可能になると考えられます。これまでもGoogle検索結果の上部にはAIによる要約「AIオーバービュー」が表示されていましたが、AIモードはこれとは異なり**会話形式でAIによる生成された回答**を中心に情報が表示されます。

	Google検索（従来）	AIオーバービュー	AIモード
主な目的	検索意図に合うページの一覧提示	複数情報源を統合した要約の提示	複雑・多重な質問へ総合回答、対話形式で深掘り
表示位置・形式	リンク中心の検索結果と広告のリスト	結果上位のスクリーンショットと出典リンク	会話型での回答、追加質問による継続探索
生成AIの利用度	限定的 (ランキング・要約は非表示)	高 (生成要約を表示)	非常に高 (推論・異なる種類の情報を取りまとめる・継続対話)
リンクの扱い	リンク中心	要約内と右側などに関連リンクを表示	回答内に参考リンクや追跡可能な導線を表示

AIモードの画面では**AIが生成した回答内に、参照元として情報源となったサイトへのリンクが表示**され、閲覧者はより深く情報を知るためにリンクをクリックして参照元を確認したり、さらに追加の質問をして回答を深掘りできます。AIモードでは、AIが直接閲覧者の質問に答えるため、**欲しい情報が検索結果のページ上で完結**してしまうことが多くなります。その結果、情報元のサイトへは流入せず検索を終えてしまいます。サイト運営者にとってはクリックされずに終わる＝アクセス数が減少するというリスクを抱えているとも言えるでしょう。



■AIモードが先行して提供されたアメリカでの結果は…？①

アメリカのSemrush社による調査では、AIモード導入後2か月で、Google検索セッションに占める**AIモード利用率は約1%程度**となっています。提供開始後2か月の調査結果でありまだ十分に浸透しているとは言えない状況ではありますが、**全体の1%**ですから、現時点では未だそこまで急速に大きな影響を与えているとは言えないでしょう。画像引用：Semrush, Google AI Mode's Early Adoption and SEO Impact, Semrush Blog, Accessed 09 Sep 2025

■AIモードが先行して提供されたアメリカでの結果は…？②

また、AIモードで検索される検索キーワードにも、通常の検索とは違いが見えてきました。（※Semrush社同調査）

AIモードでは検索クエリの長さは従来のほぼ2倍（7.22ワードvs4.0ワード、英単語ベース）。つまり、ユーザーは**長く複雑な問いではAIモード**を選択し、**短く簡易な問いでは従来型の検索**を選んでいるものと思われます。

例えば「箱根 宿」では**従来型検索**を、「**犬連れで宿泊できて、温泉があり、食事が評判のいい箱根の宿を探して**」といった**長く複雑な検索ではAIモード**を使う、という具合です。

AIモードが搭載されたからといって検索の全てが置き換わるのではなく、現時点でのユーザーは使い分けに留まっているようです。

また、日本語版のAIモードは**ハルシネーション**も依然として確認されており、**ユーザー自身での最終的なファクトチェック**は引き続き必要でしょう。



■AIモードが提供開始された後、ホームページは何をすればいいのか？

「生成AIに最適化する」ことを目的としたLLMO対策と呼ばれる手法もありますが、とはいえGoogleはGoogle検索セントラルでも「**AI による概要と AI モードのための特別な最適化を行う必要はありません**」としています。

（引用：Google検索セントラル「AI 機能とウェブサイト」）

「**有用で信頼性の高い、ユーザー第一のコンテンツの作成**」という、基本的な対策は変わりません。

「情報や引用が正確であり出典元が明示されているか」「専門家や一次情報、またはそれを元にしたコンテンツであるか」など、この機会に今一度ホームページを見直してみてもいいかもしれません。

TKC会員関与先様限定ホームページサービスのご紹介

オンライン決済にも対応！

BEST ホームページ

の「自社制作プラン」(*)は

初期費用無料！
月額6,050円^(※)が3ヵ月無料！^(※2)

(*)「自社制作プラン」は、TKC自計化システム(e21まいスター、F X2、FXクラウドシリーズ)をご利用中の関与先様へご提供しております。TKC自計化システムをご利用でない関与先様へご提供する商品もございますのでお気軽にご相談ください。
(※2)月額費用3ヵ月間無料＝お申込みいただいた月の翌月から3ヵ月間無料



「決済機能付きフォーム」で
オンライン決済対応

クレジットカード決済にも対応



採用活動に強い

求人情報専門の検索エンジン(*)に
自動連携で応募者獲得をサポート

(*)Indeed、Google しごと検索に連携 (2021/4/12現在)



動画かんたん掲載

他社との差別化、理解促進・購買促進に効果的

スマートフォン自動対応

レスポンシブデザインで手間なし自動対応



バックアップ機能＋常時SSL
でセキュリティ万全

過去の編集記録に復元できる機能で安心

サービスの詳細はサービスサイトでご紹介しております。是非ご確認ください。

サービスサイトURL <https://www.tkc.imobile.co.jp/>



サービスサイト
QRコード

発行：アイ・モバイル株式会社（株式会社TKC関連会社）

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-42-2 VORT外苑前Ⅲビル3階

TEL：03-6743-7950 FAX：0120-937-255

オンライン決済にも対応！BESTホームページ導入サポートダイヤル：0120-957-705

営業時間：9:00～18:00（土日、祝日、年末年始を除く）

URL：<https://www.imobile.co.jp/>

